



2020東京
オリンピックまで124日
パラリンピックまで156日

本村小学校

だより

3月号



発行所 港区立本村小学校
〒106-0047
港区南麻布3-9-33
TEL:03-3473-1462
FAX:03-3443-8535

嫉妬の愛 校長 山村 登洋

臨時休校

先月27日、全国で臨時休校という衝撃のニュース速報から約1ヶ月。3月では、唯一の登校日となる23日の修了式、24日の卒業式を迎えました。コロナウィルス感染防止のため、決して長い時間ではありません

3月では、唯一の登校日となる23日の修了式、24日の卒業式を迎えました。コロナウィルス感染防止のため、決して長い時間ではありません。全国で臨時休校という衝撃のニュース速報から約1ヶ月。3月では、唯一の登校日となる23日の修了式、24日の卒業式を迎えました。コロナウィルス感染防止のため、決して長い時間ではありません



が、子供たちの声、笑顔が学校に戻ってきました。6年生は24

方に繋がっていくと確信しています。卒業は新たなスタートでもあります。卒業生が自分の夢に向かって、努力を重ね、自分が設定したハードルを乗り越え、夢を実現していくことを心から期待しています。在校生にとっても23日の修了式は1年を締めくくる大切な式です。この1年を振り返り、自分の成長や自己肯定感の向上を感じるとともに次の学年に向けて自信をもって進級してほしいと思います。

真の愛情と嫉妬の愛

年度最後の学校だよりとなりますが、先日、私が読んだ本の中にあつた「真の厳しさ(真の愛情)」について紹介させていただきます。近江聖人と呼ばれた江戸時代の中江藤樹が「翁門答(おきなもんどう)」で、駄目な育て方の典型として「嫉妬の愛」を上げています。「嫉妬の愛」と

はなんでしょう。これは、さしあたる苦勞をさせず、子供の願いのまま育てるということです。一見、慈愛のようですが、その子は気ままになり、鳥や獣と同じようになるとしています。例えば、雨の日に「車で送って!」と子供が頼みもしないのに、親の方から「乗せていくよ」なんて言うことは決して子供のためにはならないということです。

子供たちの力を信じる

子供たちは学年が上がるにつれて、自分でできることが確実に

に増えていきます。さまざまに問題に出会ったとき、自分で考え解決できることは生きていく上でとても大切なことです。子供たちは大人が考えるより結構たくましいものです。子供の力を信じて、時には任せることも大切です。真の愛情をもって、子供を育てていく、見守っていくことがとても大切です。

この1年間、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、本当にありがとうございます。心より、深く感謝申し上げます。

「今年の自己肯定感率は!?!」

「子供の自己肯定感を向上させる」ことに取り組んできた1年間。実際に本校の子供たち自己肯定感はどうだったのでしょうか。

学年	4月	1月
1年	72%	91%
2年	69%	75%
3年	60%	92%
4年	68%	78%
5年	54%	67%
6年	40%	42%
全校	61%	74%

毎月実施している学校生活アンケートの中で「自分のことが好き」という項目を表にしたものです。どの学年もこの1年間で向上したことが分かります。特に1月に90%以上の学年が2つあるのはとても嬉しいことです。

